技術力で発展手助け

カメルーンの風　JICA同行記

◇1◇

02年W杯中津江キャンプも縁

日本から1万2千キロ余り。アフリカ中部のカメルーンで、大分市原川のベンチャー企業「TMT・Japan」（横山朋樹代表）が奮闘中だ。県内で初めてJICA（国際協力機構）九州の支援を受け、水洗が不要なバイオトイレの普及を目指している。JICAに同行し、11月10～19日の6泊10日の日程で現地を取材した。（城ケ滝葉、7回続き）

福岡空港から香港、アディスアベバ（エチオピア）を経由し、飛行機を約29時間乗り継いでカメルーンの首都ヤウンデに着いた。

日本との時差は8時間。11月は雨期と乾期のはざまで、気温30度前後ながら空気がカラリとしているため過ごしやすい。

蚊を介したマラリア感染を防ぐため、長袖のシャツで肌を隠してヤウンデ・ンシマレン国際空港を出た。

気温は30度前後だった。赤土の上のビーチパラソルで、衣料品や果物などを売っていた＝11日、カメルーン

設置したバイオトイレの前で、日本とカメルーン両国関係者の笑顔が広がった＝14日、首都ヤウンデ

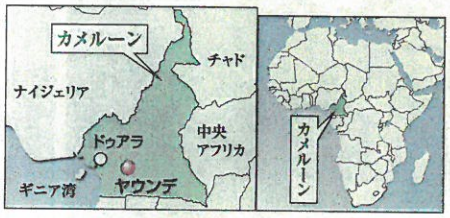
大分の企業　バイオトイレ普及目指す

毎年5％経済成長

ワゴン車でホテルに向かった。赤土の上にビーチパラソルを立て、至る所で果物や衣料品を売っている。市中心部は自家用車やタクシー、バイクの交通量が多く、企業ビルやホテルなど中高層の建物も目立つ。「思っていた以上に近代的だな」と感じた。

国全体の人口は2343万人（2016年時点）。カカオ、綿花の生産といった農業と石油、アルミニウム、鉄鉱石を利用した鉱工業が主要産業だ。

国内最大の都市ドゥアラの港は、周りの内陸国を含めた物流の要となっている。豊かな鉱物資源や良質な木材の輸出などにより、毎年5％ほどの経済成長を見せる。



15年から現地調査

JICAは12年度から、日本の技術や製品を途上国で活用する「中小企業海外展開支援事業」に取り組んでいる。

現在、その採択を受けてカメルーンで活動するのは日本のTMT・Japanのみ。同社は15年6月から現地でバイオトイレのニーズ調査を進め、約2年半後の今年11月、満を持して実証事業に踏み切った。同国での普及とその先のビジネス化を見据える。

日系企業の進出が少ないアフリカに目を向け、勝負の場としてカメルーンに白羽の矢を立てたのは、02年サッカーワールドカップ日韓大会で中津江村（現日田市）と交流を深めたことも背景の一つにある。

「ここでは『自分たちの国をよくしたい』と考える人は多いが、法整備などの遅れが発展を妨げている。われわれの技術力を持ち込み、積極的に現地を巻き込めば必ず成果は出る」

大きな空の下で、横山代表（46）は力を込めた。

ガス輸送事故防げ

消防などが対応訓練

高圧ガス輸送車の事故を想定した防災訓練が29日、由布市挾間町の県消防学校であった。県と県高圧ガス保安協会の主催で毎年実施している。大分南署と由布市消防本部、県内の各ガス会社などから計約120人が参加した。

LPガスを積んだタンクローリーが交差点で乗用車と衝突し、ガスが漏れたーとの想定。通報を受け、駆け付けた警察官が周辺の立ち入りを規制した。消防隊員が乗用車内に近づき、救助活動。ガス会社の従業員たちがガスの漏れている部分をふさぐ応急措置をした。

交通事故によりトラックの荷台からガスボンベが落下したケースを想定した訓練もあった。

県消防保安室の神志那貴雅室長（57）は「ガスが絡む事故は、大規模な災害につながる。訓練を続け、万が一に備えたい」と話した。

取り組む
挾間町

ミニコ事件簿

壁の隙間スッポリ　洗剤付けスルリ

▼先日、大分市内のマンションで「子どもが外壁の隙間に挟まれ」

約30分後に助け出した。けがはなく、隊員らは「好奇心旺盛な時期だからなあ。何より無事で良かった」とホッ。

10周年記念しシンポ

子どもいじめ・虐待相談センター・大分

NPO法人「子どもいじめ・虐待相談センター・大分」（大分市中島西）は同市のコンパルホールで設立10周年記念のシンポジウムを開いた。丹生聖治理事長（心療内科医）、吉里恒昭理事（臨床心理士）、河野聡事務局長（弁護士）がそれぞれ講演し、ストレス解消法やいじめ・虐待被害者の心理状況などについて語った。

丹生理事長は「いじめや虐待が重症化する前に相談してほしい」と話した。相談は☎097・535・1119。

講演する丹生聖治理事長

大分市職員かたり百万円だまし取る

容疑で組員再逮捕

大分中央署は30日、電子計算機使用詐欺の疑いで、横浜市、指定暴力団稲川会傘下組織幹部組員の無職久保田誠容疑者（39）＝同容疑で逮捕＝を再逮捕した。

再逮捕容疑は今年10月26日午後0時10分ごろ、大分市内の無職女性（77）方に市職員をかたって「健康保険の払戻金がある」と電話し、市内のスーパーの現金自動預払機（ATM）から現金約100万円を振り込ませてだまし取った疑い。

同署によると、現金を引き出す「出し子」で、神奈川県内のATMから引き出していた。

2日、平和考える講座

市民グループ「憲法・教育基本法改悪に反対する市民連絡会おおいた」の第3回講座が12月2日午後1時半から、大分市府内町のコンパルホールで開かれる。

平和や憲法について考える年間講座。沖縄県名護市辺野古の米軍基地建設に反対している「辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会」の共同代表、阿部悦子さん（愛媛県今治市）が講演する。

参加費千円（資料代）。誰でも聴講できる。問い合わせは事務局の池田年宏さん（☎090・4583・8797）。

きのうの交通事故

（大分県警調べ）

	きのう	本年累計	前年同期
件数	11	3677	3889
死亡	0	39	34
負傷	14	4750	5111

4日から東九州道　夜間一部通行止め

西日本高速道路は12月4日夜から8日朝まで、東九州自動車道の大分宮河内インターチェンジ（IC）―佐伯IC間を夜間に全面通行止めにする。道路の補修や樹木の伐採などのため。

時間帯はいずれも午後10時～翌午前5時まで。

問い合わせは同社九州支社大分高速道路事務所（☎097・546・8061）。

（左）が被爆クスノキで制作
長崎市岡町、長崎被災協

山王神社（長崎市）の境内入口にある巨木。1945年8月9日の投下で幹に亀裂が入り、熱線で焦げ、奇跡的に樹勢を盛り返した。被爆記念物。同市出身の歌手福山雅治さん「クスノキ」のモデルにした。

市の瑞泉寺再建の際に始まったとされる伝統工芸。欄間や仏像が代表的で100種類を超えるのみを使い分けながら制作するのが特徴だが、今回の作品ではチェーンソーも使っている。

被爆クスノキを治療した封木矣の毎老治正幸さんが